

# ●ブックトークシナリオ

【テーマ】 和紙  
【対象】 小学校3・4年生  
【所要時間】 19分

## シナリオの記載方法について

- ・動作は□で囲ってあります。
- ・表示したページ番号は、ここで使用した本によります。版が違う場合は、確認してください。
- ・本を朗読する部分は、【 】で囲った太字になっています。
- ・本と本をつなぐ言葉は二重下線を引いてあります。

## 【紹介する本】

	書名	著者名	出版社	出版年
1	世界遺産になった和紙 1 世界にほこる日本の和紙		新日本出版社	2015
2	伝統工芸の名人に 会いに行く 2 紙すき	瀬戸山玄／文と写真	岩崎書店	2020
3	和紙ってなに? 1 東日本の和紙	「和紙ってなに?」編集室 ／編	理論社	2020
4	どんな草でも紙になる	大西秀夫／文と写真	大日本図書	1996
5	つるによぼう	矢川澄子／再話 赤羽末吉／画	福音館書店	1979

## 【シナリオ】

### ●導入

今日のブックトークのテーマは、「和紙」です。

### 1 『世界遺産になった和紙 1 世界にほこる日本の和紙』

#### 表紙を見せる

和紙なんて見たことがないと思うかもしれませんが、皆さんの身の回りにもあります。この『世界遺産になった和紙 1 世界にほこる日本の和紙』のクイズで試してみましょう。

#### p.6 1～4行目を読む

クイズの前に、ヒントになる、和紙とその他の紙の違いについて書かれている部分を読みます。【**和紙(わし/わがみ)**は、日本で古くからつくられてきた紙のことです。明治時代に入り、(中略)和紙というようになりました。】

#### p.6 「和紙と洋紙のちがい」の項目の一部を読む

【**和紙と洋紙のちがい** 現在の日本の紙は、原料により和紙と洋紙にわけられています。和紙：コウゾ、ミツマタ、ガンピなどの植物の皮を原料に漉いてつくる紙。もともとは手漉きだったが、1900年代に入り、機械漉きがはじまった。】

【**洋紙**：おもに木材を原料に機械で製造する紙。】

#### p.2～3 を見せながら、p.2 1～2行目と、A～Lの項目を読む

クイズを始めます。【**和紙をさがせ!** ここにある写真のものは、紙でできたものです。このなかに和紙がつかわれたものがあるでしょうか。A 新聞紙 B ノート (以下略)】

#### 子どもの発言(例「障子」「和傘」)を聞く

p.3 答え(欄外・最下部)を読む 【**答え**：E 千代紙 F②はがき (中略) L 照明】

## 2 『伝統工芸の名人に会いに行く 2 紙すき』

### 表紙を見せる

「和紙をさがせ！」クイズの時、和紙は「植物の皮を原料に漉いてつくる」と説明がありました。いったいどうやって植物から皮を取るのでしょうか？そして、紙を漉く、とはどんなことをするのでしょうか？『伝統工芸の名人に会いに行く 2 紙すき』で見てください。

### 見返し(裏表紙側)の写真を見せる

これが和紙の原料になる木「コウゾ」です。畑で育てています。

### p.20 写真を指さす

1月初め、コウゾの枝を刈り取ります。

### p.22 写真を指さす

枝を蒸気で蒸します。

### p.24 写真を見せながら、2~11行目を読む

皮をむきます。詳しい説明が書いてあるので読みます。【アツアツのコウゾを釜から出して作業室にはこび、1本1本のコウゾの皮をむく作業に入ります。(中略) 白い芯と皮にわかれます。】

### p.25 写真「芯」と「皮」を順に指さす

これが、皮をむきおえた芯です。こちらが、皮です。

### p.28 写真「水にさらしているあま皮のついた〈なぜ皮コウゾ〉」を指さす

これが、皮から黒皮をはがし、灰汁を入れた釜で煮て繊維をやわらかくほぐした物です。木の棒で叩き、その後、機械で繊維をもっと細かくします。

### p.35 1~15行目を読みながら、p.34~35 写真「ふね」「マンガ」「さお切り棒」を順に指さす

さあ、これで準備ができました。いよいよ紙を漉きます。繊維をむらなく広げるコツが書いてあるので読みます。【つめたい井戸水をポンプでくみ上げて(中略)「水の音をきいて、手でふられて、水温やねばりをたしかめる」ようにこころがけています。】

### p.6~7 写真を見せ、写真に書かれている擬音語とp.7 6~11行目を読む

紙を漉く時はこんな音がしています。【♪ピッチャ ピッチャ ピッチャサ】【内村さんは、朝から大きな〈ふね〉の前で木の杵を前へ後へ、(中略)まるで、うたを唄うみたいなしらべ。】

### p.8~9 写真「簀桁」を指さし、p.8 3~9行目を読む

これが、紙をすくい上げる道具、簀桁です。【内村さんのまえにある〈ふね(水そう)〉には(中略)ゆすって水をおとします。】竹簀桁の上に、紙ができたら、水を捨てます。漉きあがった紙は、水分をしばり、温めた鉄板に貼り、乾かします。

### 表紙を見せる

こうして和紙が出来上がりました。

## 3 『和紙ってなに? 1 東日本の和紙』

### 表紙を見せる

和紙の作り方は日本各地に伝えられています。山梨県では、市川三郷町や身延町で作られた紙が有名です。『和紙ってなに? 1 東日本の和紙』から身延町の「西嶋和紙」を紹介します。

### p.29 「画仙紙」の写真を指さし、1~9行目を読む

これが西嶋和紙です。どんな歴史があるのか、紙の材料は何かという特徴が書かれているので読みます。【故紙と稲わらが主原料の書道用紙 富士山を望み、富士川が流れる身延町です。かつて武田信玄にも献上されました。西嶋和紙といえば書道用紙と画仙紙が有名です。特色が(中略)全国の書道家に愛されています。】

### p.29 「西嶋和紙 Data」の原料の項目を読む

西嶋和紙の原料は、【ミツマタ、コウゾ、マニラ麻など】と書いてあります。

## 4 『どんな草でも紙になる』

### 表紙を見せる

西嶋和紙は、ミツマタ、コウゾ、マニラ麻などを原料に、その前の紙すきの方法を紹介します。

コウゾを原料に紙を作っていました。では、その他の植物から、紙を作ることができるのでしょうか？実際に試したのは『どんな草でも紙になる』を書いた大西秀夫さんです。

**p.8 2～4行目を読みながら、p.9 写真「タマネギの皮からつくった紙」を指さす**

大西さんが最初にチャレンジしたのは、タマネギです。【軒下につるしてあるタマネギから、茶色い表皮だけを、たんねんに集めました。70個分はあったでしょうか。】これが、70個のタマネギの皮から作った紙です。

**p.9 写真「ツクシでつくった紙」を指さす**

その他にも、ツクシや、

**p.11 写真「ヨモギの葉でつくった紙」を指さす**

ヨモギから紙ができました。

**p.25 写真を順に指さす**

ヒマワリ、オニユリ、サルビアの花からも紙ができました。

**p.28～29 写真を順に指さし、写真の解説を読む**

キッチンにある野菜や果物でも作ってみました。葉っぱや実など、使っている部分が違うので、よく聞いてくださいね。これは【キャベツの葉でつくった紙】【ダイコンの葉でつくった紙】【トウモロコシのめしべの穂からつくった紙】【ミニトマトの実からつくった紙】【カボチャの実からつくった紙】【バナナの皮でつくった紙】です。

最後に大西さんはある物を使い、紙を作ろうとしました。ヒントはとても臭い物です。何だと思えますか？

**子どもの発言（例「ドリアン」「ラフレシア」）を聞く**

**p.31 写真を指さす**

答えは、ゾウのうんちです。さて、ゾウのうんちから紙を作ることができるでしょうか？

**表紙を見せる**

結果を知りたい人、そして、花や野菜で紙作りにチャレンジしたい人はこの『どんな草でも紙になる』を読んでみてください。

## 5 『つるによぼう』

**表紙を見せる**

では最後に、和紙を使ったある物が登場する物語を紹介します。途中まで読み聞かせをします。どれが和紙を使った物かわかるでしょうか？

**最初から、2回目の機織りの場面まで読み聞かせ** 【『つるによぼう』 雪ふかい山里のはなしです。（中略）よ平はまた、のぞくなといわれ、ぼんやりまっています。】

**表紙を見せる**

さて、ここまで読みましたが、和紙を使った物は何かわかりましたか？

**子どもの発言（例「障子」）を聞く**

**1回目の機織りの場面を見せ、障子の絵を指さし、4～5行目を読む**

答えは、この「障子」です。むすめが【「わたしの織っているうちは、けしてのぞき見なさいませんように。】と言い、閉めていた障子です。よ平は、このまま障子を開けずに、布が織り上がるのを待っていることができるでしょうか？続きを読んでみてください。

## ●まとめ

**紹介した本の表紙を順に見せ、本の書名を言う**

さて、和紙のことがよくわかるいろいろな本が登場しました。最初は『世界遺産になった和紙 1 世界にほこる日本の和紙』から「和紙をさがせ！」クイズをしました。次に、コウゾという木の枝を使い、和紙ができるまでを紹介した本『伝統工芸の名人に会いに行く 2 紙すき』。そして山梨県身延町で作られ、武田信玄も使ったかもしれない西嶋和紙を紹介した『和紙ってなに？ 1 東日本の和紙』。草や、花、野菜からの紙作りにチャレンジした『どんな草でも紙になる』、最後は、和紙を使った「障子」が登場する物語『つるによぼう』です。今日紹介した本は、全部図書館にありますので、ぜひ読んでください。

【その他の本】 こちらの本もおすすりめです。また、ご自身で追加・差し替えをするなど工夫してましよう。

- ・『世界にほこる和紙』 全3巻 増田勝彦／監修 金の星社 2021年
- ・『子どもに伝えたい和の技術 2 和紙』 和の技術を知る会／著 文溪堂 2015年
- ・『和紙ってなに? 2 西日本の和紙』 「和紙ってなに?」編集室／[編] 理論社 2020年
- ・『和紙ってなに? 3 和紙のきほん』 「和紙ってなに?」編集室／[編] 理論社 2020年
- ・『和紙ってなに? 4 ぐらしのなかの和紙』 「和紙ってなに?」編集室／[編] 理論社 2020年
- ・『世界遺産になった和紙 2 紙の発明と日本の和紙』 新日本出版社 2015年
- ・『世界遺産になった和紙 3 和紙の徹底研究(特徴・比較)』 新日本出版社 2015年
- ・『世界遺産になった和紙 4 手づくり和紙・和紙アート』 新日本出版社 2015年
- ・『自然の材料と昔の道具 4 和紙でつくる』 深光富士男／著 さ・え・ら書房 2016年
- ・『調べてみよう!日本の伝統工芸のみりよく 6 住にかかわる伝統工芸 2 文具と人形』 ポプラ社 2020年  
※美濃和紙、石州和紙、土佐和紙について記載があります。
- ・『日本の手仕事 [2] 下駄職人さん・紙すき職人さんほか』 遠藤ケイ／絵と文 汐文社 2017年
- ・『企業内職人図鑑 7 伝統工芸品 2』 こどもくらぶ／編 同友館 2015年  
※美濃和紙について記載があります。
- ・『伝統工芸のよさを伝えよう 3 学びと遊び ～ 和紙・文具ほか～』 青山由紀／監修 オフィス303／編 汐文社 2020年  
※因州和紙、土佐和紙について記載があります。

山梨県立図書館 2021.6